

The
86



MUSICASA
CONCERT



ローラン・テシュネ プロデュースシリーズ III

チェンバロ + ヴィオラ・ダ・ガンバ

CLAVECIN + VIOLE DE GAMBE

M.ヴェックマン：トッカータ

A.ルーヴィエ：練習曲

バッハ：ガンバ・ソナタ 3 番 下短調

フォルクレ：組曲 5 番 ハ短調

水野勉：草月夜のことば (1986)

ローブ：ソナタ 2 番 (初演)

久木山直：Linear G (委嘱初演)

2010.5.16.sun

開場 14:30 開演 15:00

<パーティ付> 一般 ¥7,000 学生 ¥3,500

<コンサートのみ> 一般 ¥4,000 学生 ¥2,000

information

TEL 03-5454-0054 / FAX 03-5454-0053

Mail piano@musicasa.co.jp

※プログラムは都合により変更になることがございますのでご了承ください。



■ 出演者紹介



神戸 愉樹美 (ヴィオラ・ダ・ガンバ)

フェリス女学院短期大学音楽科卒。久保田良作に師事。バーゼル市立音楽院スコラ・カントールム・バージリエンス(古楽科)卒。ヴィオラ・ダ・ガンバ専攻。ハーグ王立音楽院留学。大橋敏成、HL・ミュラー、W・クイケンに師事。1976年帰国。リサイタル、録音、NHK・NTV・TBSの番組などに出演して古楽奏者として活躍。26年間に渡りプロ・ムジクス神奈川の同人としてルネサンス・バロック音楽を紹介。'82日本オラトリオ連盟バッハ・コレギウムのガンバ奏者。'83-4日本ヴィオラ・ダ・ガンバ協会会長、'83 神戸愉樹美ヴィオラ・ダ・ガンバ合奏団結成しドイツ、フランスの他、米国では3回の長期ツアーを行った。'88以来7度にわたりアメリカ・ヴィオラ・ダ・ガンバ協会全国大会に講師として招聘。'03邦人のガンバ合奏楽譜出版を開始。'07環太平洋ガンバ大会企画委員。'08、'09京都市立芸術大学日本伝統音楽研究センター共同研究員。古楽器ガンバの魅力を生かした現代曲にも情熱を注ぎ、独奏曲と合奏曲の委嘱・献呈作品は130曲余り。共訳書にジャン・ルソー著『ヴィオール概論』アカデミア・ミュージック他。著作、論文、CD録音もある。現在、国立音楽大学、フェリス女学院大学音楽学部講師。

<http://www.ykvc.jp/013.html>



ローラン・テシュネ (チェンバロ)

ソルフェージュ、和声学、対位法、チェンバロ、バロック解釈、ピアノ、伴奏法、作曲などを学び、一等賞を得てパリ国立音楽院を卒業。その後、チェンバロ奏者として活躍すると共に、教育活動にも力を注ぎ、モンルージュ市立音楽院院長を努めたのち、1995年来日。『フランス・バロック舞曲集』(音楽之友社)、『18世紀フランス王朝時代からの鍵盤曲集』(全音楽譜出版社)を出版。CD『チェンバロ+日本1』、『チェンバロ+ハープ2』、『チェンバロ+打楽器3』(ALMRecords)、DVD『Le Cabinet Doré』(ALM Records/ SZB Visual)を発表。マザー・アース株式会社の『チェンバロ』コレクションを監修。アンサンブル室町代表。現在、東京藝術大学准教授、桐朋学園大学講師。

<http://musique-art-vie.seesaa.net>

■ お問い合わせ

ムジカーザ

tel : 03-5454-0054

fax : 03-5454-0053

mailto : piano@musicasa.co.jp

■ アクセス

151-0066 東京都渋谷区西原3-33-1

小田急線・千代田線「代々木上原」東口 徒歩2分

